

CHOHO

広報誌 [長報:チョーホー]

Vol. 32

2010 July Summer

Since 2002



特集

見て、触れて、感じる 長崎大学

学長室便り 

長崎大学長

片峰 茂

Katamine Shigeru



これからの長崎大学の 情報発信に注目してください

長崎大学は、今年の4月、新しい組織「広報戦略本部」を発足させました。

これからの大学は「社会に開かれた学術の府」でなければなりません。社会との密接かつ有機的な連携抜きには、これからの大学は教育、研究、医療などその使命を果たすことができないのです。受験生諸君、同窓生や在学生の保護者の皆さんなど大学が情報をお伝えする義務を負っている方々はもちろんのこと、民間企業や行政当局の皆さんそして一般の市民の方々にも長崎大学のことを正確にそして詳しく知っていただく必要があります。そのためには、大学発の情報の質を高め、情報発信のやり方に磨きをかける必要があると考えました。それが「広報戦略本部」設置につながったのです。「広報戦略本部」には学内外から広報のプロたちが結集しています。CHOHOの編集にも携わるようになります。

これからの長崎大学の情報発信に注目してください。目に見えて変わっていくはずですから。

平成二十二年 文月

| CONTENTS |

【特集】見て、触れて、感じる 長崎大学	1
【現場に飛び出せ!躍動するフィールドワーカーたち】 第1回 社会人類学のフィールドワーク	10
【人クローズアップ】 生物地球化学者 梅澤 有	13
【夢へのチャレンジ】 「夢募集」企画大賞 ウッドデッキ築造プロジェクト(後編)	16
【グラバー図譜】 ウチワザメ	18
【長大ニュース】	20
【インフォメーション】・【編集後記】	21

特集

先輩たちに
インタビュー



入試担当副学長

山口 恭弘

Yamaguchi Yasuhiro
(水産学部教授)

長崎大学に来て、
あなたに合った「学びたいこと」を
見つけてください！

大学や学部を選ぶということは、自分の将来に深くかかわる時間と環境を選ぶということです。

自分の将来のライフスタイルを決めることになる大切な4年間、あるいは6年間なので、数字やイメージだけで大学や学部を選ぶのではなく、自分の興味と大学の研究分野それに将来の社会人としてのビジョンを照らし合わせ、「ここで学んでみたい」と感じる事が大切です。

そのためには実際に大学に向かい、先輩たちがどんなことを学んでいるのか、どんな先生がどんな研究をされているのか、そしてキャンパスの雰囲気や周辺の環境を、あなた自身に直接感じてもらいたい。

長崎大学ではオープンキャンパスなどのさまざまな機会を設けて学部の紹介や研究内容の紹介、みなさんに参加していただける体験的な学習の場を提供しています。

長崎大学には、あなたに合った「学びたいこと」がきっとあるはずですよ。

今回の特集を読んで、もっと長崎大学を知りたいと感じることでしょう。あなたも長崎大学を直接見て、触れて、感じるために、どうぞキャンパスに足を運んでください。

見て、触れて、 感じる長崎大学

今回は長崎大学の4つの学部の先輩たちに、
大学での勉強や研究、
そして、学生生活にまつわることなど、
様々な質問に答えてもらいました。
あなたの大学選び、
学部選びのヒントとなる情報を満載しています。



オープンキャンパスの
詳しい内容は、
本誌最終ページにあります！

見て、触れて、感じる長崎大学

経済学部

現在の社会を様々な角度からとらえ、その仕組みを学ぶことで、より良い未来への道筋を見つけます。

人や物、お金の動きから社会を見つめ、「より良い社会のあり方」を追求するのが経済学部です。様々な情報が飛び交う現在、どんな社会が、良い社会なのか、いろいろな見方、考え方を学んでいます。



先輩に聞こう！

Q&A
経済学部の
ギモン・質問に
答えます!!

Q 経済学部を選んだきっかけは？

卒業後のことを考えて



正直、自分の将来像とか夢で
ペーペーしているものが見つからないまま
経済学部を選んだということ
は否めません。ただ、経済学部では社会の仕
組みを学ぶことができるので、卒業してか
らどのような仕事に就いてもうまくやって
いけるように思っています。

経済学部は、数多くの卒業生が、
様々な方面で活躍しています。
あなたも経済学部で学びませんか？

リーダーシップや組織の
仕組みなど、人を的確に
動かし、ビジネスを円滑に
進めるための方法を研究
しています。

経営分野を専門に
学び、ゼミでは財務
諸表をもとに企画分
析を行っています。

社会を生き抜く力を
導き出すのはあなた自身です。



経済学部長
東条 正 教授

長崎大学経済学部を目指していらっしゃる
なら、現在、わが国の政財界で活躍されている
本学部卒業生の方がたくさんおられること
を知っている人も多いでしょう。本学部は
明治時代にできた経済学部で教育の歴史も
古く、そのような先導者となる方がいらっしやる
のはごく自然なことなのです。

しかし、ここを卒業された先輩方は、ただ
経済の専門知識を学んだだけで今の日本を、
あるいは名だたる企業を導いておられるので
しょうか？私は決してそうは思いません。時代
背景は変われど、先輩方はそれぞれのやり方
で、「物事の根本は何か？それをどう解釈し
生かせばよいのか？」この問いの答えを求めて
常に努力されていたはずですよ。

本学部を目指すみなさんも、入学後、世の中
にある物事の根源を考え抜く力を本学部で
身に付け、社会を革新する先頭に立つてください。

経済学部総合経済学科
経済・経営情報「1」S4年
寺田 志桜里 さん

経済学部総合経済学科
経済・経営情報「1」S4年
山田 未来 さん

Q 経済を学ぶ上で、アドバイスはありますか？

ポイント は数学と英語

「経済」と言えば文系の学問というイメージがありませんか？実は経済はどの専門分野を選択しても、数学をよく使います。また、英語の文献を読み、調べ、自分のレポートや研究に活用するので、この二科目は押さえておいて損はありません。

Q 高校の頃、初めから経済学部を目指していましたか？

高校での勉強、先輩の話がきっかけ



将来の選択肢の幅が広いこと、商業高校だったこともあって、商業に関する知識を深めたいという思いから経済学部を志望していました。同じ高校の出身でこの経済学部に行かれた先輩から話を聞いたことがあり、そのときに長崎大学経済学部へ進学したいと思いました。

Q 経済学部を卒業したら？

夢は自分の店を持つこと

今はブライダル業界での就職を希望しています。また、この学部で学んだことを生かして、いつか何らかの形で自分のお店を持つてみたいとも思っています。

Q どうやって今の夢を見つけたのですか？

学生生活でのいろいろな経験

経済学部では、高校での学びをより深い、簿記や原価計算などの会計に関すること、経営戦略論や経営組織論などの経営に関する専門分野を学んでいます。私の場合、学生生活でのいろいろな経験も今の夢の後押しになっています。

一・二年生の頃は学園祭の成功を一番に

投資、金融、株…経済の循環に必須のお金の部分を専門に、より良い経済づくりを研究しています。



経済学部総合経済学科
ファイナンスコース4年
荒木 勇輝さん

考えていました。ひとり暮らしの自由さや大変さも知りました。サークル以外の経験もしておけばよかった…など、少し残念に思うこともあります。ただ、学びも学生生活も自分で考えて行動したことで、今の自分のやりたいことが見えてきました。経済学部は本当に自分が成長するきっかけが多い場所ですよ。

Q どんな先生がいらっしゃいますか？

親しみやすく尊敬できる先生



「これってこんな捉え方もできるんだー」とか、「こんな考え方もありなんだー」と思わせてくれる、親しみやすく尊敬できる先生方が本当に多いと思います。



様々な考え方を学ぶ授業で自分の興味の幅も広がります。

Q 経済学部の魅力は？

現在進行形の経済が学べることです

経済学部在籍していると、社会で活躍しておられる経営者の方から直接お話を聞く機会があるなど、現在進行形の経済を学ぶことができることです。

また、いくら大学で学んだとしても、社会に出ないと分からない部分はたくさんあるので、それを二つでも解消できたり、研究テーマの参考になることはすばらしいことだと感じています。



寺田さんが小学生のときに出版した本。絵本を作成した経験を深め、将来の夢につなげたいと就職活動もがんばっています。

Q 経済学部に入って変わったことは？

自分の身の回りに目を向けるようになったこと

自分の身の回りのことに目を向けるようになったことは大きく変わったことですね。

例えば、買い物だったり、何気なく見るニュースひとつをとっても、授業を取り上げられたこととリンクしている事柄が多く、普段気づかないようなモノの流れや仕組みに興味がわくようになりました。

また、この経済学部を出身されて大企業のトップに就かれている方など、政財界で活躍されている偉大な先輩方がたくさんおられます。その方々の活躍を通して、将来の自分像をイメージできることも、この経済学部で学んでよかったと思えることの一つです。



見て、触れて、感じる長崎大学

医学部

保健学科

チーム医療、地域医療、

国際医療などを通じて、患者さんの 視点に立てる心と技術を学びます。

体の不自由な方や、介護が必要な方の生活の改善を目的として学ぶ、「看護」「理学療法」「作業療法」の三分野。明確な目標があるから、意欲を持って取り組んでいます。



先輩に聞こう！

Q&A 保健学科の ギモン・質問に 答えます!!

Q 保健学科で一番印象的だったことは、？



看護学専攻の実習ではいろいろな発見がありました。

一番驚いたのは、患者さんと接したときの反応です。何気ない行為が、その患者さんにはとてもうれしいことだったり、逆に好ましくないことだったりします。授業や事前に聞いたイメージとは違う感覚

大学生活はあなたのがんばり次第でいろいろな可能性を発見することができる場です。

在宅の障害者に対して、日常動作の機能回復を目指す作業療法分野を学んでいます。

看護師を目指して学んでいます。実習を経験して看護師という仕事にますます興味が湧いています。



保健学科長
松坂 誠應 教授

やさしさと温もりをもって患者さんと 寄り添える人になってください。

医療、特に臨床の現場を目指す人に頭においてもらいたいのは、「温かい気持ちで患者さんに寄り添う」ということです。

医療の現場で働く人は、患者さんの身体状況を改善する使命感から、とかく上の立場に立ってしまいがちです。しかし、患者さんにとって、私たちのような専門職者が同じ視線でものを見てくれることは、とても心強いことなのです。

保健学科は三専攻とも、他者に寄り添うことができる、やさしさと温かみのある医療専門職者を念頭に置いています。医療はどちらかと言うと理系分野ではありますが、私たちの学科では文系のセンスもおおいに必要です。そのため、平成24年に行うセンター試験等から入試科目を変更します。

私たちは人間に興味がある人を心から歓迎します。いろいろな経験を通して、「患者さんと寄り添うこと」を理解し、将来一人でも多く臨床の現場で実践してくれることを願っています。

医学部保健学科
作業療法学専攻4年
荻 由梨香さん

医学部保健学科
看護学専攻4年
森園 加奈さん

を経験できました。

入学以前に思っていた「白衣の天使」という看護師の仕事が、こんなに大変だとはいま想像もつきませんでした。万方で、とてもやりがいのある仕事だということも実感できました。

Q 授業以外でも学ぶことはありますか？

ボランティアが役立っています

学科や先生方からボランティアに関する情報がもらえるので、興味をもったものに参加しています。今は障害を持つ子どもたちと遊んだりするボランティアをしています。授業だけでは得られない経験ができ、新しい発見も得られますよ。

Q 高校と大学の勉強の違いは？

自ら学ぶ姿勢



高校時代はどちらかということあまり積極的に学ぼうとしていませんでした。勉強する内容は与えられていましたし、それをこなすのに精一杯で…。大学生になって初めて、「自分で学んでいかなければだめだ!!」ということが分かりました。以来、いろいろな人と「コミュニケーションを取りながら(取らざるを得ない?)、自ら学ぶ姿勢に変わったと思います。

Q 先生たちの魅力は？

学科の垣根を越えてアドバイスいただけます

先生方が親しみやすく、距離を感じさせないところですね。授業などで分からないところがあれば、学科の垣根を越えて質問もしますよ。そこで参考となるアドバイスもいただいたりします。

長崎大学には、全国でも数少ない専門分野を担当しておられる先生もいます。事前

に調べてその先生のものでも学ぶと、学生生活がより充実するかもしれませんね。

Q どんなことが学べますか？

看護・理学療法・作業療法



保健学科は「看護学専攻」「理学療法専攻」「作業療法専攻」の三つに別れています。看護師はみなさん想像できると思いますが、その二つを説明します。まず、理学療法士ですが、病気や外傷などで身体が不自由になった人々に、その機能の回復(手を動かせるようになるなど)を支援する専門職です。作業療法士は、心身の障害で生活が不自由になった人々が快適で豊かな生活が送れるよう、実生活面の援助(普段使う道具を使うようにするなど)をする専門職です。卒業後の目標が決まっているので、それを目指して学んでいる学生がほとんどです。

Q 針路は決まっていた方がいいですか？

入学後じっくり決められます

将来、自分がどのような道に進みたいのか。例えば、医療の分野で人と関わりたいとか、こんな研究してみたいなど、大きな道筋を考えておくのはよいことですが、あわてなくても大丈夫です。自分がどのような仕事に向いているのかは、大学に入ってからいろいろな講義を受けたら、先生と出会ってからじっくり決められますよ。

さらなる高みを
目指そう!!

保健学専攻(修士課程)で臨床現場での リーダーシップを発揮しよう!!

医療福祉の現場では対象者個人のライフスタイルを重視した支援がますます要求されています。高度な保健学の知識を持ち、臨床現場でリーダーシップを発揮できる人材が必要とされているのです。長崎大学医歯薬学総合研究科には、そのような人材を養成するため、看護学、理学療法学、作業療法学それぞれに修士課程が設置されています。

対象者の手や足などの機能回復を支える理学療法分野を学んでいます。今学年の後半からいよいよ病院などで理学療法の実習が始まります。

医学部保健学科
理学療法専攻3年
永田 二貴さん

グローバルな視点から国内外の女性の健康増進・看護やそれに関わる人材の指導、助言、政策の提言などの活躍が期待されています。



看護学講座プロダクティブヘルス
国際看護学分野

教育研究内容をさらに深めた修士課程修了後は、看護師の指導や保健師としてのリーダーシップを発揮する場での活躍が期待できます。



看護学講座
健康推進看護学分野



理学・作業療法学講座
作業療法学分野



理学・作業療法学講座
理学療法学分野

臨床の現場に限らず、医学・福祉・教育分野などでも、現場の指揮をとったり、対象者それぞれにあった機能回復のためのプログラムを管理するなど、高度な専門知識をもって活躍する理学療法士、作業療法士を育成しています。

見て、触れて、感じる長崎大学 薬学部

医療に欠かせない 「薬のプロ」を目指して 励んでいます。

様々な病気に立ち向かうために欠かせない「薬」。その「薬」に携わる薬剤師や薬を創り出す研究者を目指して日々研究に取り組んでいます。あなたも臨床現場や開発現場において、「薬のプロ」として社会に貢献する専門分野を学んでみませんか？



先輩に聞いて！
Q&A
薬学部の
ギモン・質問に
答えます!!

Q 高校の勉強と大学の勉強の違いは？

ポイントは自分で整理



授業で板書の少なさには驚きました。多くの授業がスライドだったり、先生が口頭で進める授業が多いので、ポイントを自分でつかんでいかなければならないところが高校の勉強とはかなり違いますね。

Q 薬学部の魅力は？

より高い専門性を養える
環境はとても魅力的

全国から同じ目標を持った学生が集まるので、地元の学生が比較的多い他学部とは少し雰囲気も違うかもしれません。

また、薬科学科はほとんどの学生が大学院に進学するので、ご自身の学科も長い時間、学生生活を送ることにあります。実習もあるので、そこをじっくりと自分の特性を磨くことができますよ。
より高い専門性を養える環境はとても魅力的だと感じます。

医療の歴史ある長崎で
薬学を学び、
一緒に薬に関するプロを
目指しませんか？

薬を通して社会に貢献する
薬学部学生の意気込みを
感じてください。



薬学部長
畑山 範 教授

長崎大学薬学部は古くから薬剤師に加え、薬を創製する研究者も多く輩出しており、ここから優秀な薬に関するプロフェッショナルが生まれています。しかし、ここで学ぶ人には、薬剤師や研究者に関わらず、ただ目の前にある目標達成だけを指すのではなくて様々な問題についてあらゆる方向からベストな方法をあみだす力、世界レベルで問題を検証できる能力を身に付けてほしいと思います。

ノーベル賞を受賞された本学部卒業生の下村脩先生のように、そういう志を持った先輩や卒業生がこの学部にはたくさんいます。学びの現場をぜひ自分の目で見て、ここで学ぶ先輩方の強いまなざしを感じてみてください。興味をかきたてるヒントや将来のきっかけとなるシーンがあなたを待っていますよ。

薬学部薬学科4年
高比良 理愛さん

疾患にかかりやすい方や治療薬が効きやすい方、あるいは副作用の起こりやすい方の遺伝子型を探索しています。

薬学部薬科学科卒
(医歯薬学総合研究科
修士課程生命薬科学専攻1年)
野村 祐介さん

Q 薬の研究ってどんなことをするの？

とてもひどい言葉では言えませんが、それだけ興味、驚きがつまっています



薬の研究といっても、実は細かく専門分野が分かれています。

例えば、植物から有効な成分を見つけた分野、汎用できる成分を作る分野を考へる分野、汎用できる成分を作る分野などさまざまです。

いろんな研究者とコミュニケーションし、共同しながら研究が進められます。

Q 薬学部ではこんなことが学べますか？

薬剤師、薬の研究者を目指す

薬学部は、薬剤師を目指す「薬学科（6年制）」と、薬の研究者を目指す「薬科学科（4年制）」に別れています。卒業後の目指す地点が大きく異なるので、自分がなりたい将来像をしっかりと決めておく必要があると思います。

長崎大学薬学部の大きな特徴は、薬科学科があることです。薬の研究者になるための学びができる大学は全国でも限られています。薬科学科を希望するほとんどの学生は修士課程・博士課程に進学し、薬の開発や新薬製造に携わっていきます。

Q 薬学部での意外な発見は？

とにかく英語

「英語の力がこんなに必要なか」と思ったこと。とにかく参考となる論文はほとんど英語。専門用語も膨大にあり、薬科学科となると、海外の留学生も多いので、英語の力は必須です（笑）。決して脅しではありません。

Q 薬学部に進学したきっかけは？

過去の体験から

私の身内ががんになった経験があり、そのとき、家族がとんでも大変そうだったので、私自身いたたまれない気持ちになりました。

何か医療の面で人の役に立ちたい...。そんな思いと、中学・高校の頃から化学が好きだったことがリンクし、「薬」というキーワードが自分の中にずっとあったことがきっかけです。

現在、薬科学科を卒業後、修士課程へ進んでいます。薬の研究といっても簡単に結果や結論が出ることはまれで、じっくり向き合う忍耐力、観察力が要求されます。ただ、その分やりがいは大変大きいので、薬の研究者を目指してよかったですと思っています。

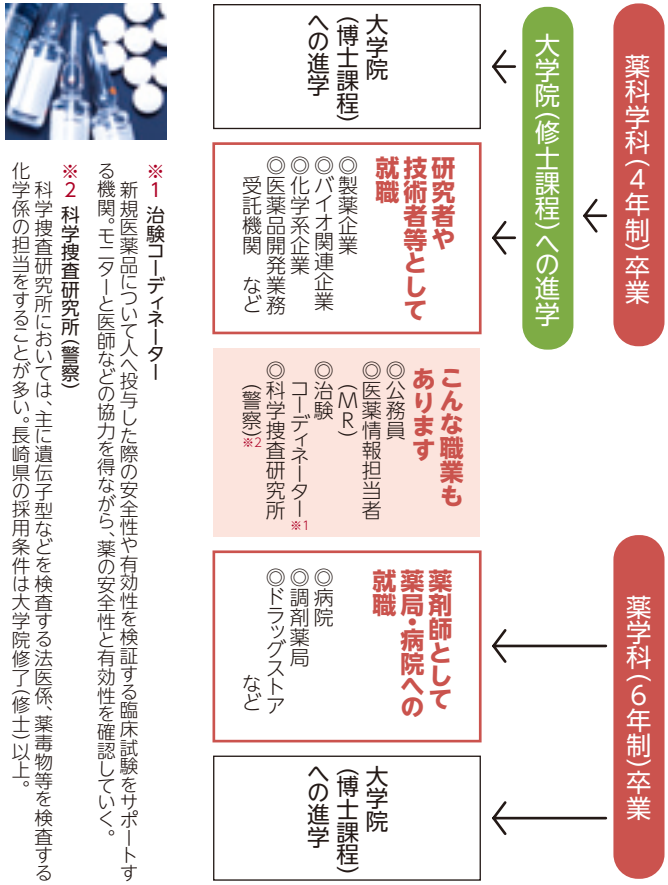


薬にできそうな有効な成分を、化学反応を使って人工的に作る研究を行っています。

あなたはどっち派？

薬学部生の卒業後とは？

薬学部の卒業生は病院、薬局、製薬企業に就職しているほか、公務員、治験コーディネーターなど多方面で活躍しています。



※1 治験コーディネーター
新規医薬品について人へ投与した際の安全性や有効性を検証する臨床試験をサポートする機関。モニターと医師などの協力を得ながら、薬の安全性と有効性を確認していく。

※2 科学捜査研究所 警視庁
科学捜査研究所においては、主に遺伝子型などを検査する法医係、薬毒物等を検査する化学係の担当者が多く、長崎県の採用条件は大学院修了(修士)以上。

見て、触れて、感じる長崎大学 工学部

人々の生活を豊かにするために「工学」を学んでいます。

工学と聞くと、機械、電気、建造物などを思い浮かべる方も多いかもしれませんが、実は、携帯電話やロボットはもちろん、インテリア製品や化粧品など、生活に密着した分野にも活かされています。人々の生活をより豊かにすることが工学の目標です。



先輩に聞こう！
Q&A 工学部のギモン・質問に答えます!!

Q 文系に進むか、理系に進むかで迷いましたか？



私は理系を選択しました

私は、数学が苦手なのですが将来モノづくりをしたいという夢があったので、あえてこの道に進みました。結果、数学もいろいろな質問と組み合わせながら理解していくことができています。やりたいうちがあるので、多少苦手意識がある分野でもチャレンジして良かったと思っています。

Q 女子学生が少ないと思いますが窮屈ではありませんか？

窮屈に感じたことはないですね

確かに女子学生は少ないですが、学生生活や学びにおいて特に心配はいりません。先生方はとても気さくで面白い方ばかりですし、学生生活を窮屈に感じたことはないですね。先生方が私たちに気を使ってくださっているので、逆に居心地が良いかもしれません(笑)。



研究室で学んだり、過ごす時間も多いです

将来の夢が大きく開けている工学部。
学ぶうちに、きっと自分がやりたいことが見つかりますよ!!

現在、様々な物質の構造を細かく分析しながら、ものづくりの基礎研究を進めています。

工学部機械システム工学科卒
(生産科学研究科博士前期課程1年)
小笠 あゆみさん

「人のために何かしたい!」と思うあなたに学んでほしい。



工学部長
清水 康博 教授

工学は、常に自然と共生し、人の生活を豊かにすることを見据えた学問です。そのためのより良い技術開発はもちろん、これからは安心や安全を軸とした「倫理」に基づく技術者の考え方や創造力、コミュニケーションがなければ人の生活を豊かにしていくことはできません。社会に出たとき、工学の知識を使って自分の力で社会にある問題を解決できる人材を育てることがこの工学部の目指すところです。

4年間でじっくりと基礎と応用を学び、さらに大学院でその力を磨き上げ、あなただけの力を完成させてください。そのための環境は十分整えているつもりです。後はあなたの「人のために何かをしたい!」という高い志のみ。工学部でその気持ちをカタチにし、将来の夢を切り開く武器を作り出してください。

Q 工学が女性に向いているのか？
本誌ですか？

工学部に入りますますぞう思います

例えば、おしゃれなインテリア雑貨やシヨールームにあるモデルキッチンなど、「使
いやしくてステキだな」と思える製品に出
会ったことはありませんか？

かわいくて使いやすいもの、新しい機能
がおしゃれに付け加えられたものなど、女
性ならではの感性が活かされるように思
います。

実際、工学部にはモノ作りを担う企業に
就職された女性の先輩方も多く、私もそ
れに続いていけるようがんばっています。

Q 工学部では
どんなことが学べますか？

対象は非常に広範囲ですね

工学部は、数学や物理学、化学などの知
識を使ってさまざまな現象を解明すること
から始まり、機械や電気電子製品の開発、
構造物の設計、そして本多さんのように農
学に近いバイオテクノロジー分野など、そ
の学びの対象は非常に広範囲です。工学
部のどの専門分野も「モノづくり」とい
う部分では共通で、その結果のほとんどが、
私たちの身の回りの製品に活かされている
といえますね。



おしゃべりも打ち合わせにも自由に使用できる
リフレッシュルーム

Q 工学部の学習環境はどうですか？

明るくリニユアール



工学部の改修工事が終了し、
とてもキレイなキャンパスになり
ました。驚くことに、それ以前は
女子トイレの数が少なく、不便でしたが、今
はとても快適です(笑)。

学部内は黄色いイメージで統一され、各研
究室も明るくなりました。談話スペースも
あり、ここなら学ぶ意欲も湧く(?)感じが
しますね。

Q 実際にどういった研究を
されていますか？

人体と関わる分野に興味があります

私は食品管理や品質管理など、人の体
の中に関わる分野と化学に興味があったので、
応用化学を選びました。研究ではタンパク
質の構造をメインに分析や実験をしていま
すが、繊細な作業をしなければならぬこと
もあり、それが逆に楽しかったですね。



「Salut(サリュ)広場」フランス語で「こんにちは」という意味の中庭

私は今、大腸菌を用いた
遺伝子組み換えで、タン
パク質合成を試みてい
ます。化粧品などへの応
用の可能性が期待され
ています。



工学部応用化学科
（生産科学研究科博士前期課程1年）
本多 麻美さん

Q 工学部の魅力は？

数々の専門分野

工学部には専門分野がたくさんあるので、
将来に向けた選択肢が広いことですね。
また、工学部での研究には他の分野へ応用
できるものも多く、多くの可能性を秘めて
いるのも魅力です。

Q 女性にオススメの分野はありますか？

選択肢は本当に広いです

自分の研究分野と照らし合わせたとき、
食品や品質の管理に携わる仕事は細かい作
業や視点が要求されると思っています。他に
も、女性ならではの器用さが生かされそ
うな分野はたくさんあるので、探してみ
てください。あなたにあった分野がきっと見つ
かると思います。

Q 授業のないときは
何をしていますか？

気分転換にランニング

サークルやアルバイトをしている学生は
多いと思います。私はたまに、市営のグラウンド
まで走ったりしています。基本的に「日中ずっと
研究をしている」ということはないですね。男
子学生が多いので、アウトドア派は多いかも
しれませんね。

Q 高校の勉強と
大学の勉強の違いは？

積極的に問いの答えを探る

大学は高校と違って、全てにおいて自分
から動き、働きかけないと前に進んでいきま
せん。特に勉強は、誰も監視しないですし、
注意もされません
(笑)。普段は図書
館で文献を調べたり、ときには先生
に紹介していただ
いた方の所へ伺っ
て、お話を聞いたりす
ることもあります。





現場に飛び出せ！ 躍動するフィールドワーカーたち

社会人類学者

増田 研

Masuda Ken
(環境科学部 准教授)

研究にはさまざまなスタイルがあります。実験をする、文献資料を読み込む、コンピュータで解析する……そして現場に飛び出す。

人と関わらない研究はあり得ません。そして人々の生活する空間は実験室でも書斎でもありません。

今回から始まるシリーズ「現場に飛び出せ！ 躍動するフィールドワーカーたち」では、人が生きる世界に飛び込んで、人と関わり合いながら、その暮らしを写しとる、そんなフィールドワーカーたちを紹介します。

第1回は環境科学部の増田 研 准教授です。

第1回 社会人類学のフィールドワーク

村のテントから

朝6時。テントの外が賑やかになります。

「ケンはまだ起きてるかい？」

「まだ眠ってるよ！」

その声で目を覚まし、もぞもぞとテントから這い出ると、そこには十人を超える人々が私を待ち構えています。こうしてフィールドワーク中の私の一日は始まります。

なんでそんなに遠いところまで出かけていくかつて？ もちろん「そこいなければ分らないこと」ばかりだからです。

社会人類学（文化人類学とも呼ばれます）は、人間の社会や文化の成り立ちを、現地に住み込んで調査すること、明らかにする学問です。そのため現地調査（フィールドワークといいますが）、つねに人々との関わりをなかで展開されます。



フィールドワークに欠かせない道具
右から、メモ、家計簿、調査ノート、ヴォイスレコーダー、GPS、カメラ。これらを常にカバンに入れて持ち歩きます。



環境科学部／大学院国際健康開発研究科 准教授 増田 研(ますだ けん)
1968年、神奈川県横浜市生まれ。1992年 名城大学文芸学部卒業。1998年、東京都立大学大学院修了。神奈川大学日本常民文化研究所研究員などを経て、2004年に長崎大学に着任。博士(社会人類学)。



私の住まい

バンナの村に滞在している間は、居候をしたり、空き家や学校の空き教室に住まわせてもらったりします。このテントは10年前まで使っていたもので、エチオピアの軍隊用に作られた頑丈なものでした。この周りに毎朝、人びとが集っていたのです。

「薬局」開店

朝早く、夜明けとともに訪ねてくるのは、私に治療してもらいたい人たちです。

小さな子供が母親に連れられておらずと近づいてきます。足の怪我が治らないと言います。切り株が何かで怪我をしたのをそのまま放置していたために、分厚いかさぶたの下にたくさん

の膿を溜め込んでいました。
バンナでは擦り傷、切り傷は日常茶飯事です。日本だったらすぐに消毒して絆創膏を貼ってしまえば済む話ですが、ここではそうもいきません。消毒

しないと雑菌が入って化膿しますし、放っておけばバンパンに腫れて動かさなくなりです。

私は医師ではないので、せいぜいが怪我の治療くらいしかできません。しかし私、がもちこんだ薬の効き目が素晴らしいという噂がたつて、フィールドワーク中のひと頃、私の毎日こんな感じで始まっていました。私が持っていた薬など、日本ではどこでも手にはいるような市販薬ばかりでしたけれど。

人々と暮らすなかで 見えてきたもの

その頃の私は、バンナにおいて急速に普及しつつあった学校教育とキリスト教会のことを調べていました。学校がないところに学校ができ、新しい宗教がもたらされると、社会の仕組みもまた大きく変わります。その変化の方向をきちんと見極めることが必要だったので、毎日の生活はけっして調査だけで過ぎていったわけ

はありません。牛の放牧につき合い、畑作業を手伝い、水汲みをし、教会の日曜学校に参加し、泊まり込みで儀式につき合い……病人を助け。

私のような社会人類学者は、つねに人と関わり、人に取り巻かれながら調査をします。私が知りたいことを知っているのは「現地の人々」ですから、人との関わりを避けては何もできません。さまざまな問題に直面しながら、ああでもない、こうでもないと考えをめぐらせるのです。

忘れられない「患者」がいました。背中におびただしい数の傷をもつお母さんでした。傷口にはその場しのぎで土が塗りたくられていましたが、そこから雑菌が入り込んで三面化膿していました。聞けば「浮気したことがばれて夫からさんざんムチで叩かれた」ということでしたが、その場の誰一人としてその夫を非難する人はいませんでした。そういう社会なのです。人権とかDVとかいう言葉が



子どもたち

フィールドで人びとと仲良くなる秘訣は、ずばり「子どもたちと遊ぶ」ことです。子どもは外国人にも臆することなく近づいてくれますし、一緒に遊べばすぐに仲良くなれます。

出てくる以前に、「そういう社会なんだ」ということを理解することが必要でした。その場で「こんな暴力、ひどいじゃないか」と言うこともできたでしょう。でも、言いませんでした。それがバンナのしきたりであるのなら、それを頭ごなしに否定するのではなく、なぜ、どのようにその社会が成り立っているのかを知ることが先だと考えたのです。



病の退散を祈る

ある家庭で奥さんの病気が治らないため、早朝に病の退散を祈る儀式をすることがあります。薬を飲んででも治らないときの「神頼み」ですが、人びとにとっては欠かせない儀式なのです。



赤ちゃんの体重測定

予防接種の日、診療所には赤ちゃんを連れたお母さんたちがやって来ます。習いたての数字を、みんなでワイワイガヤガヤ読んでいきます。とても楽しそう。



診療所に集まる人びと

5年ほど前、この村に初めての診療所が開かれました。しかしふだん、人びとはほとんど活用していません。この写真にこんなたくさん子どもたちが写っているのは、この日が予防接種の日だったからです。

「あるべき社会」と 「現にある社会」

私たちの誰もが幸福を願い、そして、社会をより良くしようと頑張っています。私たちは、言わば「あるべき社会」の理想像についてのいろいろな考え方にさらされています。クルマに乗るのをやめて、二酸化炭素排出量を減らそうとか、対立をなくして戦争のない世界を実現しようとか、そういう美しい意見表明は「社会はこうあるべきだ」という理想像に裏打ちされています。

しかし、現実はどうでしょうか？ どれだけ声高に叫んでもクルマは減りませんし、戦争だってなくなりません。理想を掲げて未来のための学問をすることは必要ですが、実際には理想とはほど遠い世界が私たちの目の前には広がっているのです。

知るべきことは、「現にある社会」が、なぜ、どのように、そうなっているのかということ。そのための方法として私が選んだのは、現地に住み込んで、人々とともに生活し、同じものを食べて、その暮らしの脈絡の中から「現にある生活と文化」をすくい上げるといやり方でした。

脈絡の中で生きる

パンナの人々と関わるようになって二〇年近くたちます。彼らの暮らしは、ある面では大きく変わりましたが、他の面ではまったく変わっていません。



放牧するブスコ君 (1993年)
今から17年前、私は毎日のようにブスコ君と一緒にウシの放牧をやっていました。生活自体を共にすることで、たくさんのことを学ぶことができました。



現在のブスコ君
20代後半になったブスコ君は、今では結婚し、子どもも生まれ、立派な「一家の主」です。



ブスコ君の息子
ブスコ君の長男の名前は「ケン」です。もちろん私の「研」から取られています。パンナでは同じ名前を持つ者どうしは特別な絆で結ばれます。私もパンナに行くときには必ず「ケン君」にお土産を持っています。

いま、村には小学校と診療所ができました。子どもたちは、勉強にはそれほど熱心ではありませんが、午前中は学校、午後からは放牧と畑仕事というように、勉強と仕事を両立させようとしています。診療所のほうは、あまり活用されていないようです。予防接種を実施しても、赤ちゃん全員が集まるわけではなく、

ワクチンも届けられる途中で半分くらいが使い物にならなくなってしまうことがあります。重病人が訪れても高度な治療はできませんし、町の病院に患者を運ぶための救急車もありません。日本ではたいして問題にもならないようなことが、なぜエチオピアの辺境では重大事になってしまうのか。

忘れ者のアフリカ人が医療の整備をしなかったからだ(だからアフリカはいつまでも遅れているんだ)、そもそもアフリカには財政的な余裕などないのだ(だから援助してあげよう)、いや、アフリカの人たちには伝統的な薬草があるじゃないか(だから新しい技術を持ち込むべきではない)……などなど、いろいろな意見があるでしょう。でも気をつけてください。そういう意見はみな結局のところ「あるべき社会」を語ることに落ちてしまっています。

「現にある社会」は、すべて無数の脈絡の中にあります。私たちの生活にある全てのものは、何らかの脈絡なくして成り立ちません。外側から「あるべき社会」像を押しつけるのではなく、まずは内部から「現にある社会」を知り、適切な脈絡に位置づける。そのために私のような人類学者は、せつせと現場に通い続けるのです。

鳥追い
7月、収穫が間近になると、実りをついばみにたくさんの鳥が集まってきます。人びとはやぐらを造り、畑を見張っては鳥を追い払います。





地球が 教えてくれること

生物地球化学者
梅澤 有
 (Umezawa Yu)
 (水産学部 助教)

1974年千葉県生まれ。1998年東京大学理学部地球科学卒業。2004年東京大学理学系大学院地球惑星科学専攻博士課程修了。ハワイ大学植物学科学院研究員、総合地球環境学研究所上級研究員を経て、2008年より現職。専門分野は物質循環学、生物地球化学、博士(理学)。



「いろいろな情報を基に想像力を膨らませ、目に見えないものを見えるようにする能力が研究者には不可欠」と語る水産学部助教の梅澤有さん。東南アジアや熱帯・亜熱帯地域の島々などにも出かけ地道な調査も行っています。その研究を通して、自然の物質循環が少しずつ明らかに始めています。

海藻藻場調査のために訪れた大村湾

学生へのメッセージ

世の中には、多様な職業や活動があり、異なる考え、価値観を持つ、多様な人がいます。本当に自分がやりたいこと、自分と考えが合う人、自分に刺激を与えてくれるモノ・人に早く出会うためにも、積極的に自分の行動範囲を広げていくこと。

世の中の多くの人々は、そのような若いエネルギーを大歓迎してくれるはずです。



1 私は「いつか飛行機に乗って海外のサンゴ礁を見たい!」という夢がありました。大学3年生の時に初めて石垣島で調査を行ったことが現在の研究の“きっかけ”でした。



2

1・2=海洋での調査の一コマ。右に大きく写っているのは、白化(共生している藻類が抜けて白くなる現象)した巨大なハマサンゴの一部。
 3=調査に協力していただいた石垣島の海人(漁師)の方々とのコミュニケーションには、泡盛(沖縄の焼酎)が必須です!



3

広域にわたる物質循環の解明

長崎大学水産学部で「海洋の物質循環」を明らかにする研究を行っている梅澤助教。生物を構成している元素(炭素、窒素、酸素など)がどのように地球上を循環し、それがどうなる地域環境や生態系に影響を及ぼすのか?が研究の柱です。

「海洋の物質循環」とはいえ、研究対象は陸域から海洋まで幅広く、周辺に生息する動植物もさまざまです。現在の調査対象地域は、大学生の頃から着手しているサンゴ礁やマングローブ林などの熱帯・亜熱帯地域と、アジアの大都市沿岸、東シナ海などの外洋、有明海などの内湾が中心です。海洋や河川、地下水、森林、土壌など、それぞれの地域から採取してきた水や堆積物、生物などの試料を化学分析したり、培養実験を通して元素の動きを調べるなど、梅澤さんは現地へ出向いたフィールドワークを中心に調査研究を行っています。

自然とともに成長したからこそ

千葉県四街道市で幼少期を過ごし、その頃からいろいろな動植物とふれあい、成長したという梅澤さん。ところが、その後、梅澤さんの周辺の環境が激変。そのとき、人間活動と生態系の変化の因果関係に興味を持ったことが現在の研究に向かわせる大きなきっかけとなりました。

「研究を通して感じることは、人間は所詮自然の中で生きている動物の一つにすぎないということ。自然の仕組みを明らかにしたり、逆に自然を制御しようと考えられることは、畏れ多いことですが、小さなことでも

Thailand タイ



1998年、大学院1年生のとき、タイのマングローブ帯河口域調査の様子。苦手の激辛のタイ家庭料理を1カ月間食べ続け、まさかのダイエットに成功!

Jakarta ジャカルタ



2008年、ジャカルタで行った沿岸調査。現地の観光業者からチャーターした小舟に、地下水の湧出量を測定するシステム機材を設置して準備を行っている様子。



Hawaii ハワイ



共にウィンドサーフィンを楽しんでいた仲間と一緒に。



海洋学科の同僚とサンゴ礁調査。借り上げたペンションとは別に、沿岸に前線基地としてテントを設営し、数日間の観測を行います。



マウイ島で行った海洋調査の様子。海のあちこちに設置した海藻の化学成分の変化から、海洋環境を読み取ります。調査用の海藻が海ガメに食べられてしまうことも。



調査を行った地域の普段の生活。

新しいことを明らかにしたり、その知見を利用して、生物や我々人間にとって、住み良い環境を作り出すことができるかもしれない。その期待は、研究を進めるうえで大きなモチベーションになっています」。

ハッピーングはつきもの

自然を相手にする研究では、想定外のことともよく起こります。梅澤さんの場合も思わぬハッピーングに遭遇したり、悩まされることもしばしば…。

「慣れない場所や、発展途上国での海洋調査は怖いですね。現地でも借りたダイビング器材(レギュレーター)が海底で破裂したり、悠然と泳ぐハブクラゲやサメなどに遭遇したり、化学物質で肌が真っ赤になったり、素潜り調査中に、突然の大シケで流されてしまったり…。また、国外の場合は特に、ある区域に入ることや、生物試料などを採取して持ち帰ることに對しての許可取得に時間を取られたり、海に設置する観測機材が盗まれないように夜明け前に隠れて設置するなど、研究調査の本質以外のところでのマネジメント能力が問われるそうです。

「いつまでも現地滞在する訳にはいきませんから、地元の方に観測機材の管理や、年間を通しての様々なデータ取得をお願いしたりもします。そのときに、研究が円滑に進むよう、いろいろな方とコミュニケーションする大切さを毎回痛感せずにはいられません。そのためあの手の手を考えてきたという梅澤さん。

「調査協力をお願いする前に、現地の人と飲み交わしたり、初対面にもかかわらず、歌を大声で歌い合ったり…。学生時代に

調査で行った沖縄では三線も弾きました。よそ者の私を受け入れてくれ、地元の方には今でも感謝しています。」

好奇心旺盛で何でもやらないと気がすまない性格。左写真は趣味が高じて、沖縄の民謡が酒場などで披露していた三線。学生時代には、テント一つで北海道や沖縄などをヒッチハイクで旅行をしたり、家の建設を夢見て、週末に宮大工の方に木材加工を習っていたことも。長崎に来てからは、海で素潜りをして魚を捕ったりもしています。



研究は目に見えないことを 見えるようにすること

熱帯・亜熱帯域の島々や東南アジアでは、現地の研究者も少なく、継続した実態調査が不十分なため、研究の基礎となるデータ収集を含めた地道な調査が必要となります。しかし、言葉や慣習の違い、現地の食文化を楽しむこともでき、梅澤さんのお気に入りベスト3は、インドネシア・メキシコ台湾(だそつです)、異なる地域の比較研究を進めることで見えてくる現象もたくさんあると梅澤さんは言います。

「例えば、人間が出す汚染物質が同じ量であっても、その土地の環境(気温 降水量 土地利用状況や地形)によって、汚染物質の自然浄化※能力が著しく異なることが明らかになってきています。また、ある地域で出された汚染物質が大気や海洋を通じて遠く離れた別の地域の生態系の維持や環境悪化に影響を与えることも明らかになってきています。」

梅澤さんが研究のアプローチの一つとして取り上げている地下水も河川と同様、陸域から汚染物質を海に運ぶ役割をしています。が、地表を流れる河川水と違って調査が難しく、その実態はきちんと解明されていません。そこで、地下水の汚染解析や、地下水の流動、海への流出量などを明らかにする研究にも取り組まれています。

目に見えているものだけを見るのではなく、いろいろな情報を基に、想像力を膨らませ、目に見えないことを見えるようにすることが研究者に必要な能力だとおっしゃる梅澤さん。研究を通して少しずつ明らかにされる自然の物質循環が、これからの環境への負荷を低く抑えると同時に、適切な人間活動を行うための施策に役立つことが期待されています。

※自然条件下の微生物の動きなどによって、汚染物質が無害な物質に変えられること。

長崎大学練習船(鶴洋丸)や干潟での実習風景



海底や干潟などに、長期間設置型の環境記録装置や、セジメントラップと呼ばれる沈降物質の捕集装置を設置して、得られたデータの分析、解析を行う様子。

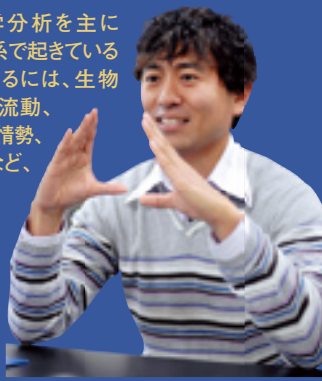


泥干潟を、潟スキーなどを利用して動き回り、表層の泥を採取。



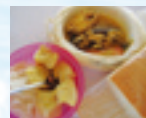
外洋域では、長崎大学の練習船(鶴洋丸)に、採水した水試料の前処理に用いる機器を積み込んで、数日から2週間程度の航海を行います。一方、沿岸域では、小型のボートに分析機器などを積み込んで、海水の採水と分析を行います。

研究過程では、化学分析を主に扱っていますが、生態系で起きている様々な現象を理解するには、生物自身の生態や海水の流動、さらに、その地域の社会情勢、人々の行動についてなど、あらゆることを同時に理解していく必要があります。また、他の研究者とコミュニケーションする能力も欠かせませんね。



Tuvalu ツバル

現地の主食は、タロイモとパンの実(ブレードフルーツ)



2009年、南太平洋のツバルで行った地下水の貯留量と汚染に関する調査。温暖化による気候変動や海面上昇が、島の人々の生活に与える影響を調べています。大潮の満潮時、町はずれの集会所(写真右)は海水で水浸しに。

Israel イスラエル

死海のそばにそびえたつ岩塩でできた崖。ハンマーで叩くと塩の結晶が飛び散ります。



流出する河川がないために塩分が海水の10倍ほど高い死海では、身体がプクプクと浮かびます。聖書にまつわる史跡が多いことでも有名。

2010年3月、イスラエルで行われた国際学会参加時のイスラエル旧市街地の巡検にて、「嘆きの壁」の近くで世界各国の研究者とともに。



「夢募集」企画大賞

ウッドデッキ建築プロジェクト(後編)

夢のチャーム

平成22年4月1日、長崎大学文教キャンパス生協食堂に、「ウッドデッキ」が完成しました。発案からデザイン、築造まで、全て学生たちの手によって行われた全国初のプロジェクト。後編では、完成までのラストスパートを紹介します。

◎食堂の混雑を解消したい

平日のお昼時は大混雑していた文教キャンパス生協食堂。この混雑を解消すべく「ウッドデッキ建築プロジェクト」が立ち上がりました。工学部4年生の松本さんの発案で、生協横の空き地にウッドデッキを作り、大幅な座席増を図るという企画です。着工は昨年10月。基礎コンクリートの打設や基礎石の設置、木材の防腐処理などの作業を経て、ようやくウッドデッキの全貌が明らかになった12月下旬頃までを前回紹介しました。

◎ウッドデッキ細部の製作から完成まで

今回はその後編として、床板や手すりの設置、テーブルチェア製作の様子、そして完成までを、このプロジェクトに関わったメンバーの感想とともに紹介します。実際、今年1月、9年ぶりに長崎を襲った大雪のせいで作業が中断したりと思わぬアクシデントもありました。しかし、実作業を通してしか見えてこないもの、味わえない充実感と感動、何より、自分たちが主体となって取り組むプロジェクトが、完成に近づく喜びが後押しし、プロジェクトに携わった学生たちは常にバイタリティーに溢れていたようです。学生間でも好評のウッドデッキ。皆さんもぜひ一度訪れて、手作りならではの味わいやぬくもりを楽しんでみてください。



「ウッドデッキ」築造に取り組んだ
主要メンバー

県外の人たちも注目しています



ホームページ制作・運営担当
藤田 京康さん
(工学部4年)

主にホームページの制作・運営などを担当しました。県外の方からのアクセスも多く、メンバーの一員として、ものづくりの喜びを共有でき、うれしく思います。

新しい発想で挑んでください!



プロジェクト副代表
小野原 公一さん
(工学部4年)

机上の学びだけでは味わえない有意義な経験ができました。後輩のみなさんにはぜひ、私たちの発想を超えるプロジェクトに挑んで欲しいですね。

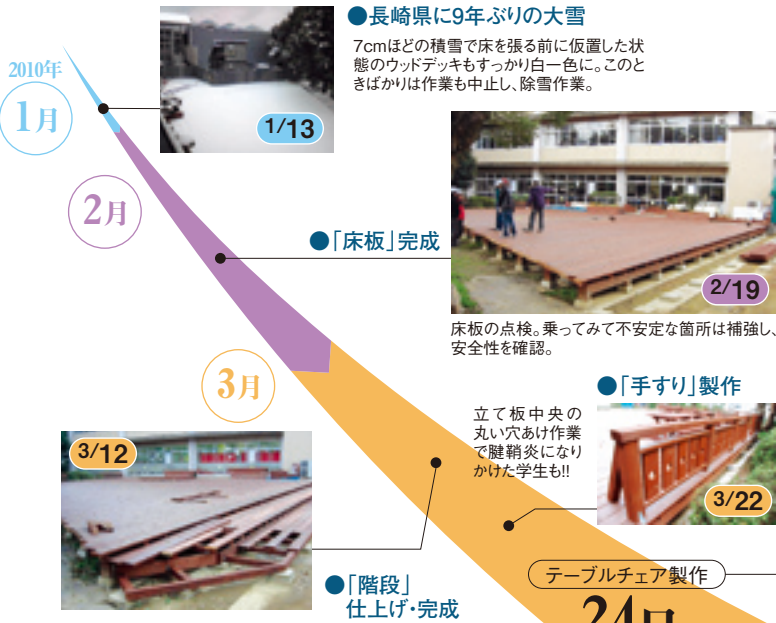
「工学」の大切さを改めて肌で感じました



ウッドデッキ築造の発案者
プロジェクト代表
松本 峻さん
(工学部4年)

実作業をするうちに改めて工学の大切さを肌で感じる事ができただけでなく、多くの人々と出会い、互いに協力し合うことで活力となり、ひとつの目標を達成する事ができました。大学生活において貴重な体験をさせていただいたことに、心から感謝しています。

作業の流れ



●テーブルチェア製作 (有)中村木工所 Jalan-Jalan工場にて



●搬入・花植え



プロの視点で的確な助言をいただきました!!

(有)中村木工所 Jalan-Jalan 社長 中村 伸一さん

松本君との出会いは約1年前、「大学にウッドデッキを作りたい」と、私を訪ねて来たのが始まりでした。彼なりのインスピレーションがあったのでしょうか、何のつながりもない私のところにこのプロジェクトの相談を持ちかけて来たことには本当に驚かされましたね。「こんな大学生がいるのか!?!」「発注者は大学側ではないのか?」「そもそもこの計画は本当に実行できるのか...?」私の不安をよそに前代未聞の工事は着々と進みました。こんな工事は私自身も今まで経験したことがありませんでしたが、完成したときは「やってよかった」と感じずにはいられませんでした。彼らの情熱の結晶、これから大切に使うてあげてください。

24日

搬入
25日

●最終確認



メンバー全員で最終確認。中村社長がテーブルに記念の焼き印をプレゼント。

最終確認

29日

4月

2010
4/1日
オープン!!

2010
4/2日
入学式

工期	平成21年9月～平成22年3月
デッキの広さ	300㎡(130人収容)
デッキ材	レッドシダー、杉(熊本、宮崎産)

使用木材	使用部位	数量(本)
2×8(レッドシダー)	床板、階段	510
2×6(レッドシダー)	手すり	13
2×4(レッドシダー)	手すり	15
150mm角材(杉)	柱、梁	47
120mm角材(杉)	手すり柱	13
150×76mm角材(杉)	食堂側床板受け	3
90mm角材(杉)	根太、階段梁	139

◎木材総計:850本 ◎使用ビス総計:約1万本



●オープニングセレモニー

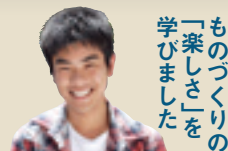
待ちに待ったオープニング当日。片峰茂学長をはじめ、様々な関係者も駆けつけ、盛大に行われました。

長崎大学ウッドデッキ 検索 http://starleague.web.fc2.com/nagasaki_univ/

テレビにも取り上げられました!!

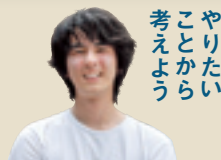


「ウッドデッキ」着工からオープンまでの様子は、テレビ(テレビ長崎「スーパー特集:学食のプロジェクトX」2010年4月8日放送)にも取り上げられ、各所から反響を呼びました。



尾崎 博和さん (工学部2年)

先輩方から、ものをつくる「楽しさ」を学びました。今回の経験をさらに発展させながら、将来は自分たちが中心になって、このプロジェクトを超える何かを成し遂げたいと思っています。



六倉 賢太さん (工学部4年)

「やりたいこと」を先に考えることが大切だと改めて思いました。「やりたいこと」があるから「やらなければいけないこと」がはつきりします。それは苦しくても目標達成の原動力になります。



中野 一也さん (工学部4年)

「学生でも何かやれる!」というのを伝えたくて、モノづくりをしながら、記録を残しました。出来上がったときの感動は一生の思い出です。



川端 将太郎さん (工学部4年)

プロジェクトでは主に実作業を行いました。最初は同じ作業の繰り返しで終わりが見えない不安があったり、慣れない工具の使い方に戸惑ったりしましたが、徐々に愛着が増大しました。

グラボバー図譜

『日本西部及南部魚類』
Fishes of Southern & Western Japan



ウチワザメ

Platyrrhina sinensis

●画家：長谷川雪香

水産学部教授

山口敦子

Yamaguchi Atsuko

〈プロフィール〉

東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了、2000年に長崎大学水産学部准教授、2010年7月から現職。博士(農学)。専門は魚類学、水産資源学。主な著書、「干潟の海に生きる魚たち」有明海の豊かさを危機(東海大学出版会)、「海藻を食べる魚たち」(成山堂書店)など。

ウチワザメは暖かい海に多く、本州中部以南から中国などアジアの沿岸域に分布します。名前にサメとつきませんが、れつきとしたエイの仲間です。ウチワザメ科の学名 Platyrhinae は、「皮膚がヤスリのようにざらざらして平たいエイ」を意味しています。体の前方はうちわのような円形で、背中一面がざらざらしています。背中の中央およびその周辺と、目の内縁に数本の固い棘があり、その周囲は黄色で縁取られているのが特徴です。グラバー図譜では、長谷川雪香画伯により見事にその特徴が描かれています。

ウチワザメの漁獲量が多い有明海や橘湾では、「こぞこぞ」、「やまんでら」など様々な名称で親しまれています。倉場富三郎氏が記した「ゲッキン」という方言は、中国から長崎にもたらされた月琴(楽器)にウチワザメが似ていたことによるのでしょう。ウチワザメは、地域によっては船上で投棄される場合もありますが、湯引きや練り物の原料として利用されます。アジア諸国では食糧資源として貴重な種類であるため、絶滅が心配され、その生態や資源状況を把握することが急がれています。

長年謎に包まれていたウチワザメの生態が、私たちの最近の研究により明らかになってきました。雌は雄の2倍以上長い、12年の寿命を持ち、最大で全長約60cmに達します。幼魚の餌はエビなどの甲殻類ですが、成長

するとシタビラメなどの小さな魚類を食べるようになります。夏から秋にかけて平均6尾ほどの赤ちゃんを出産した直後、休む間もなく交尾をすませ、妊娠します。驚いたことに、受精卵は発生の過程で突然休止し、10カ月近くもの間、休眠状態にあることがわかりました。その後わずか3カ月の急激な成長期を経て小さな赤ちゃんが生まれます。似たような休眠は陸上の爬虫類や昆虫などでも知られていますが、これが海洋で生活するウチワザメにとつてどのような意味を持つのか、今はまだ謎です。

ウチワザメのざらざらした皮膚の正体は、楯鱗とよばれる鱗です。背中一面を覆う小さな鱗は、歯と同じ硬いエナメル質から出来ています。サメ肌といわれる所以です。これらの鱗のついた皮は、身近なところでは「わさびおろし」として使われています。板に貼ったウチワザメ等の皮でおろしたわさびは、クリーム状でまろやかにすると、寿司屋では好んで使われます。金属製のおろし金でこすると酸化しやすく、味が落ちるといいます。また、鱗がついたままの、あるいは鱗をきれいに取り去った後の皮は、財布やバッグ等にも加工されています。

古い時代にさかのぼってみると、奈良時代以降、エイの皮は刀剣の柄に巻く皮革の原料として重要であったことを窺い知ることが出来ます。「鮫皮」あるいは「柄鮫」などと呼ばれていましたが、鱗の特徴から実は

その多くがサメではなくエイであったことが明らかにされています。中でも上等とされていたのはツカエイの皮で、何れも海外からの輸入に頼っていたようです。

鎖国の時代には、長崎はエイ皮を輸入する日本で唯一の港となっていました。1680年頃には長崎にサメ(エイ)皮を扱う鮫屋が40軒もあり、長崎役人の中に鮫目利という専門職がいました。数百種類もいるサメやエイの皮の良否、偽物や細工もいるなどを見分けることは実に難しかったようです。素人はだまされることも多かったそうです。ウチワザメの背中にある大きな鱗や色に代表されるように、天然の模様をどのように貼り付けるかによって、装飾品としての美しさが決まります。また、着せた皮の合わせ目には寸分の隙間もあつてはなりません。技術も根気も要求される、エイ皮を巻き付ける作業の際には、鮫着師と呼ばれる職人が活躍したようです。微小な鱗の種類や並びの具合が刀の滑り止めとなり、武士の命を守ったことでしょう。当時のウチワザメの皮の価値については定かではありませんが、国内には少なかつた南方系のエイの皮が、諸外国から長崎を通じて国内にもたらされていた時代があつたのです。

参考文献

「近世日中貿易史の研究」

山脇悌二郎、吉川弘文館、1960年

「鮫」

矢野憲一、法政大学出版局、1979年

長崎大学附属図書館のホームページでもご覧いただけます。

日本西部及南部魚類【グラバー図譜】
<http://oldphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/GloverAtlas/>



病院に 救命救急センター を設置

大学病院は、4月1日付けで県内で2番目の救命救急センターを設置しました。

救命救急センターは、救急用ベッド6床、集中治療室（ICU）8床、及び脳卒中集中治療室（SCU）6床の計20床を持ち、専任医師9人、脳神経外科医9人（兼任）、看護師71人で受け入れ体制をとっています。



河野病院長らによる看板上掲

男女共同参画推進センターを開所

4月10日、男女共同参画推進センターの開所式を行いました。

同センターは、男女共同参画推進に関して、教職員の意識啓発、教育・研究と育児の両立、女性研究者の拡大等の総合的な支援事業を実施するために設立されたものです。開所式には、長崎大学及び他大学の関係者等約50人が出席。片峰茂学長、大井久美子センター長らによるテープカットで開所を祝いました（同センターについてはCHOO第31号で詳報）。

また同日、中部講堂において「21世紀の男女共同参画社会に向けて」をテーマにキックオフシンポジウムを開催し、300人以上が参加しました。



シンガポール国立大学と 大学間で学術交流協定を締結

本学は4月16日、シンガポール国立大学と大学間での学術交流協定を締結しました。

同大とは、1987年に医学部間で部局間学術交流協定を締結し、お互いに多くの交流を通じ、信頼関係を築いてきました。今回、大学間のさらなる交流を図るため、部局間から大学間の学術交流協定に発展することとなり、片峰茂学長と同大のタン・エン・チエ副学長が協定書に署名を行い、大学間の学術交流協定が締結されました。



附属図書館への 寄附金に対する 感謝状贈呈式

長崎大学医学部では、卒業生が卒後20周年を機に母校と後輩たちのために寄附を行う伝統が続いており、このたび、平成元年卒業生有志72人から、学生用図書の実費を目的とした寄附金が贈られました。

これを受けて4月19日、多くの学生が学習している中央図書館の閲覧室において、卒業生からの寄附金に対する感謝状の贈呈式を行いました。



柴多一雄図書館長からの感謝状の贈呈

ナイロビ大学 （ケニア共和国）との 学術交流協定を締結

4月27日、ナイロビ大学において、片峰茂学長とジャコブ・カイメニール次席副総長が協定書に署名を行い、両大学間で学術交流協定が結ばれました。

今回の学術交流協定の締結は、林善彦歯学部長とナイロビ大学のエベリン・ウガイユ歯学部長を中心とする口腔科学分野並びに本学の国際健康開発研究所とナイロビ大学アフリカ研究所との交流を通してもたらされました。



本号は、広報戦略本部が4月に発足して、初めての企画・編集号です。特集では、受験生の皆様を対象に、4学部を紹介しています。誌面の都合で、4学部に限定していますが、7月に本学で、また8月には佐世保で開催されるオープンキャンパスや進学説明会には是非、来ていただき、長崎大学の各学部の魅力を直接、「見て」、「触れて」、「肌で感じて」いただきたいと願っております。

今回から2つの新しい企画シリーズがスタートいたしました。1つは「現場に飛び出せ! 躍動するフィールドワーカーたち」で、6回のシリーズでお届けする予定です。第1回は前号の「人クローズアップ」にも登場した社会人類学者の増田研准教授です。2つ目は、これも前号で紹介しましたが、「グラバー図譜」です。今回から水産学部の山口敦子教授が、毎回、身近な魚介類を1種類ずつ取り上げ、自身の研究成果も織り交ぜながら紹介いたします。

2つの企画ともメディアを通じては、ほとんど接する機会のない新鮮な知識や情報です。皆様方に感動いただけるものと期待しております。

(原田哲夫)

[編集・発行]

長崎大学広報誌編集委員会

[委員長]

原田 哲夫 工学部 教授
広報戦略本部副本部長

[委員]

堀内 伊吹 教育学部 教授
吉田 高文 経済学部 教授
高橋 和雄 工学部 教授
池田 幸恵 環境科学部 准教授
小林 信之 医歯薬学総合研究科 教授
堀尾 政博 熱帯医学研究所 教授
佐々木 均 病院 教授
深尾 典男 広報戦略本部副本部長 教授
浅野 眞 広報戦略本部副本部長
林田 育三 広報戦略本部全学同窓会支援室長
吉田 恭二 広報戦略本部主査 (広報調査)

TEL. 095-819-2018

FAX. 095-819-2156

(E-mail)

www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp

[発行日] 2010年7月1日

Information

もっとわかる、もっと好きになる、やっぱり入学したくなる、
「見て」「触れて」「感じる」オープンキャンパスへ行こう!!

長崎大学オープンキャンパス

7/17・18
(SAT) (SUN)

長崎大学オープンキャンパスを平成22年7月17日(土)と18日(日)に開催します。
下記URLにアクセスして、詳細を確認の上、申し込んでください。

URL <http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/open/>

携帯サイト <http://daigaku.jc.jp/c.php?u=00178&l=02&c=00029>



7月17日(土)

◎文教キャンパス

学部名	時間	説明会会場
教育学部	9:30~13:00	全学教育講義棟201番教室及び教育学部内各教室等
	13:30~16:00	中部講堂及び教育学部内各教室等
薬学部	12:50~17:10	薬学部多目的ホール及び各研究室
工学部	9:30~16:00	中部講堂及び工学部内各学科研究室・実験室
環境科学部	12:30~16:30	全学教育講義棟102番教室及び環境科学部内各研究室等
水産学部	13:00~17:00	水産学部4階大講義室及び各研究室
附属図書館	図書館自由見学	10:00~17:00
	貴重資料展示室公開	10:00~17:00
	図書館ツアー	10:00~、10:40~、11:20~、12:00~、 12:40~、13:20~の6回(各20分)
キャンパスツアー	在学生が文教キャンパスを案内します	9:40~11:00、12:40~14:00
長崎大学Q&A・展示		10:00~16:00 中部講堂前、入試課前
在学生による何でも相談コーナー		10:00~14:00 学生プラザ前

◎坂本キャンパス

学部名	時間	説明会会場
医学部(医学科)	14:00~16:30	医学部記念講堂
医学部(保健学科)	10:30~14:00	学科紹介、模擬授業等
	10:30~16:30	医学部保健学科講義室及び実習室で随時繰り返し実施
	9:30~10:30	キャンパスツアー
	11:00~16:30	下村脩博士のノーベル化学賞受賞記念講演会ビデオ上映
歯学部	13:00~15:30	歯学部第1講義室

◎片淵キャンパス

学部名	時間	説明会会場
経済学部	10:00~12:20	経済学部講堂
	13:30~15:50	経済学部講堂
	10:30~15:30	キャンパスツアー 本館ピロティ
	11:00~14:00	模擬授業

7月18日(日)

◎文教キャンパス

学部名	時間	説明会会場
環境科学部	12:30~16:30	全学教育講義棟102番教室及び環境科学部内各研究室等
附属図書館	10:00~17:00	図書館自由見学

長崎大学進学説明会 in佐世保

8/22
(SUN)

日時 8月22日(日) 12:30~16:30

場所 長崎県立佐世保北高等学校(上履きを持参してください。)

対象 高校生及び保護者

実施内容 ●全体説明 長崎大学の概要、各学部の特徴の説明
●各学部コーナー 教員による個別相談やポスター展示、実験コーナー等
●相談コーナー 経済的支援等の相談、現役学生による相談

表紙について

タイトル不詳

中島 三雄

元長崎大学教授の故・中島三雄氏(1919-2007)は、1944年(昭和19)長崎師範学校(長崎大学の前身)に着任以来、長崎大学教育学部教授、同大教育学部附属養護学校長(併任)を務め、1984年(昭和59)に停年退職するまで、美術科教育に力を注ぎました。退職の際、多くの作品を同大に寄贈。表紙の作品はその中のひとつで、文教キャンパス事務局1階入口の廊下に飾られています。



読者の皆様のご意見・ご要望をもとに、より充実したCHOHOを目指します。
大変お手数ですが以下のアンケートにお答え下さい。
ご回答はFAX(095-819-2156)でお願いします。
なお、E-mail(www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp)でも受け付けております。

[年齢] 歳 [性別] 男・女

1 今回よかったコーナーに をつけて下さい。(複数回答可)

- 【特集】見て、触れて、感じる 長崎大学
- 【現場に飛び出せ!躍動するフィールドワーカーたち】 第1回 社会人類学のフィールドワーク
- 【人クローズアップ】 生物地球化学者 梅澤 有
- 【夢へのチャレンジ】 「夢募集」企画大賞 ウッドデッキ築造プロジェクト(後編)
- 【グラバー図譜】 ウチワザメ 【長大ニュース】
- 【インフォメーション】・【編集後記】

2 今回の内容はどうでしたか? をつけて下さい。

- やさしい ふつう 少しむずかしい むずかしい わからない / おもしろい ふつう つまらない

◎ご意見・ご感想をお書き下さい。-----

3 今後読んでみたいテーマなどありましたらご記入下さい。

ご自由にお書き下さい。

4 CHOHOをどこでご覧になりましたか?

5 その他、大学に対するご意見・ご要望がありましたらお聞かせ下さい。

ご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

長崎大学広報誌編集委員会

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2018
<E-mail> www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp